

男女共同参画コラム

日本に来て
10年の歩みを振り返る

郭 媛元

学際科学フロンティア研究所 助教



私は20歳の時に東北大学の短期留学プログラム「Junior Year Program in English (JYPE)」に参加し、初めて日本に来ました。今から考えてみると、当時は日本語が全くわからないし、英語も少しだけ話せるくらいだったので、果敢に留学を決めた私はまさに、中国のことわざで言う「生まれたばかりの子牛はトラを恐れず」でした。しかし、この交換留学の一年間で、いろいろな国の友達に出会い、彼らの文化や考え方に触れ、視野が大きく広がりました。また、研究室に配属され、恩師である吉信達夫先生と出会い、そこで経験したバイオセンサの実験をきっかけに、初めて研究の楽しさを知りました。教科書で勉強した知識を実際の実験に展開できた時、心が躍りました。その後、自分のやりたい研究に挑戦してみたいと思って、研究者としての道を選び、東北大学大学院に進学を決めました。脳科学の美しさに惹かれて、生物実験を学ぶために、博士課程在学中に、MITに留学しました。新しい実験技術を勉強するとともに、強く刺激を受けたのはMITの先生、当時Assistant ProfessorのPolina Anikeeva先生でした。Polinaはまだ20代後半にもかかわらず、競争が最も激しい、世界トップの大学MITで研究室を立ち上げました。あの若さで、こんなに素晴らしい成果を出していることに驚きました。そして、私は彼女のような立派な研究者になりたいと思い、若い女性でも自分で選んだ研究道で成功できることを信じて、一緒懸命頑張ってきました。初めて日本に来てから、既に10年が経過しました。この10年、研究はずっと順調に進んできたわけではなく、失敗もたくさんありました。そして、落ち込んだこともたくさんあります。しかし、失敗しないと成長できない、結果より経験の方が大事だと思って、一步一步着実に歩んできました。また、この10年、研究を通じて、吉信先生やPolinaなど恩師たち、優秀な仲間との出会いがあったことも心の支えとなっており、とても感謝しています。

東北大学サイエンス・エンジェル
— 女性研究者支援モデル育成 —



サイエンス・エンジェル(SA)の最新情報はコチラからご覧いただけます！
http://tumug.tohoku.ac.jp/next_generation/sa/
※QRが読み取れない場合は上記URLよりアクセスをお願いします。



東北大学サイエンス・エンジェル(SA)は、今年度はオンラインを中心に活動しました。「「集まれ！理系女子」第12回女子生徒による科学研究発表Web交流会」における講演、宮城県宮城第一高等学校の生徒を対象としたオンライン出張セミナー、山形県立山形西高等学校の生徒を対象としたオンライン研究室訪問等を通じ、研究生活の様子や本学の研究環境について伝えました。「サイエンス・エンジェルとぴかぴか☆LED手芸」では、オンラインで電気工作について分りやすく伝えながら作品づくりを行う試みが行われました。また、今年度からスタートした「東北大学サイエンス・エンジェル科学イベント」では、SAが企画・実施の全てを行いました。メディアプラットフォーム「note」では、研究・大学院生活・進路選択の経験や、仙台の魅力、一人暮らし事情、座談会レポートなどについて、SA自身が発信しています。

各記事の詳細および当センターの活動予定は、TUMUG WebやSNSをご覧ください。

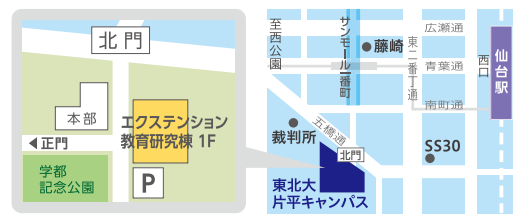


東北大学男女共同参画推進センター

Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL. 022-217-6092

所在地 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
Mail office@tumug.tohoku.ac.jp
WEB <http://tumug.tohoku.ac.jp/>



TUMUG スケジュール

3月 March

21日 サイエンス・エンジェル
オンライン報告会
開催時間/14:00~15:00
開催方法/オンライン
対象/東北大学サイエンス・エンジェル

4月 April

13日 第12回TUMUG
オンラインランチミーティング
開催時間/12:00~13:00
開催方法/オンライン
対象/本学研究者、教職員

30日 東北大学サイエンス・
エンジェル募集(第2回)
対象/自然科学系部局に所属する
大学院女子学生

5月 May

18日 第13回TUMUG
オンラインランチミーティング
開催時間/12:00~13:00
開催方法/オンライン
対象/本学研究者、教職員

21日 ネクストステップ
研究費(第1回)
対象/女性教員
(准教授、講師、助教、助手)
※詳しくはTUMUG Webをご確認ください。

6月 June

8日 第14回TUMUG
オンラインランチミーティング
開催時間/12:00~13:00
開催方法/オンライン
対象/本学研究者、教職員

スケジュールの内容は変更する場合があります。
最新情報はTUMUG Webをご確認ください。



TUMUG

Mar. 2021
Vol. 18

「TUMUG」とは、「Tohoku University (東北大学)」「Movement (運動、活動)」「United (回結、協力)」「Gender (ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクリロニム)。東北大学が「紡ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして拡がっていくことを目指しています。



第17回東北大学男女共同参画シンポジウムを開催

本年度は11月28日にオンラインで開催され、ポストコロナ時代のダイバーシティ推進について議論しました。

上段左より、DILWORTH, Machi 氏、宮浦 千里 氏
下段左より、板倉 康洋 氏、大野 英男 総長

Headline News

第17回東北大学男女共同参画シンポジウム「人を育てる～ポストコロナ時代～」を開催しました。

ダイバーシティ推進の観点から議論し、次代の教育の方向性を提示。

第1部では、来賓の板倉康洋氏(文部科学省科学技術・学術政策局長)からご挨拶をいただいた後、DILWORTH, Machi氏(元沖縄科学技術大学院大学 副学長)による「Promising Approaches Toward Full Participation of Women in Academia 海外の事例より学ぶダイバーシティ推進」と題する特別講演が行われました。第2部では、杉本和弘氏(東北大学高度教養教育・学生支援機構 教授)、大西詠子氏(東北大学病院麻酔科 助教)、永野友香氏(東北大学大学院医学研究科 修士1年)、DILWORTH, Machi氏による、「人を育てる」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。ポストコロナ時代のアカデミアにおける教育や研究推進について、ダイバーシティ推進の観点から議論し、次代の教育の方向性を提示しました。第3部では、第7回澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞授賞式および本賞受賞の宮浦千里氏(東京農工大学 副学長)による受賞講演が行われました。当日は、180名(関係者含む)の方にご参加いただきました。



山内 正憲 教授 杉本 和弘 教授



大西 詠子 助教 永野 友香 氏

日 時: 11月28日(土) 13:00~16:00
会 場: オンライン(Zoomウェビナー) 対 象: 学内教職員、学生、一般の方

2020年度後期 イベント開催報告

新型コロナウイルスの影響により対面のイベント等が制限される中、当センターではオンラインでのイベントを積極的に開催しています。

2020年度 TUMUG オンラインランチミーティング

日時：第8回/12月8日(火)、第9回/1月12日(火)、第10回/2月9日(火)、第11回/3月9日(火)各回12:00~13:00
開催方法：オンライン 対象：本学研究者、教職員

TUMUG オンラインランチミーティングは、新型コロナウイルス感染拡大防止をきっかけにスタートしました。東北大学の女性研究者のネットワークの形成および実質的な学際融合研究等への発展を目指し、定期的に開催しています。2020年度後期には4回開催され、毎回40名前後の方々に参加いただいています。

■ プログラム

- 第8回：落合 恭子(医学系研究科 助教)
奥山 純子(東北大学病院 肢体不自由リハビリテーション科 助教
指定国立大 災害科学世界トップレベル研究拠点 災害医学研究領域)
- 第9回：小谷 元子(東北大学理事・副学長(研究担当)、理学研究科 教授
材料科学高等研究所 主任研究者・教授)
石綿 はる美(法学研究科 准教授)

- 第10回：眞鍋 史乃
(星薬科大学薬学部/東北大学薬学研究科 教授)
吉川 貴子(医学系研究科 助教)
- 第11回：関口 仁子(理学研究科 准教授)
佐藤 恵美子(薬学研究科 准教授)



2020年度 東北大学サイエンス・エンジェル 科学イベント

日時：第1弾/12月5日(土) 14:00~15:30、第2弾/12月19日(土) 10:30~12:00
開催方法：オンライン 対象：第1弾/小学生1~6年生・保護者の方、第2弾/小学生4~6年生・保護者の方

今年度より開始した「東北大学サイエンス・エンジェル 科学イベント」は、SA自身が企画・実施を行い、参加者と一緒にオンライン上で実験を行うイベントです。第1弾の「ふわふわ! シュワシュワ!一緒にマグカップケーキとラムネを作ってみよう♪」では、お菓子作りを行い、その後で原理を説明しました。第2弾の「お家でできる!『身近なものからDNAを取り出してみよう!』」では、いつも食卓に並んでいる野菜からDNAを取り出し、同じように後で原理を説明しました。第1弾は5名、第2弾は8名の参加がありました。



【速報】2020年度 東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」受賞者決定

平成29年度より社の都女性研究者エンパワーメント推進事業の一環として、東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」を創設しました。第3回となる今年度は、人文・社会科学分野、理学・工学分野、農学・生命科学分野、医歯薬学・保健分野の4分野から各1名、合計4名の受賞が決定しました。2021年3月1日(月)に国際女性デー記念第4回紫千代萩賞授賞式・受賞講演会授賞式を実施し、受賞者には表彰状ならびに副賞が授与されました。授賞式の様子は、次号掲載します。



■ 開催情報受賞者一覧

- 人文・社会科学分野**
受賞課題：
鄭 嬌婷
国際文化研究所 准教授
脳科学的アプローチによる
第二言語習得研究
- 農学・生命科学分野**
受賞課題：
大坪 和香子
農学研究科 助教
腸内菌の多様性と機能性
およびその有効利用の研究

- 理学・工学分野**
受賞課題：
林 久美子
工学研究科 准教授
非平衡統計力学を用いた
生体内輸送現象の研究
- 医歯薬学・保健分野**
受賞課題：
熊田 佳菜子
薬学研究科 助教
炭素-水素結合官能基化による
直裁的な有機合成反応の研究

今後の予定

2021年度 TUMUG支援事業のご案内

2021年度「TUMUG支援事業(男女共同参画・女性研究者支援事業)」を下記の通り実施します。公募要領をご確認のうえ、ぜひご応募ください。

研究支援要員

- 両立支援
 女性リーダー育成

研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助

- 対象者
- ◎出産・育児・介護等を行う教員・技術職員(男女)
 - ◎国の審議会委員等の要職に就く女性教員・技術職員

ネクストステップ研究費

- 女性リーダー育成

新規の研究課題の遂行や、研究成果の公開に必要な研究費の支援

- 対象者
- 女性教員(准教授、講師、助教、助手)

注意事項

- ※プログラムによって対象と締切が異なります。
- ※各部局担当係を通じての申請となります。**各部局における締切**にご注意ください。
- ※プログラム内容を変更する場合がございます。詳細は、追って公開される要項をご確認ください。

ベビーシッター利用料等補助

- 両立支援

研究・教育と育児の両立に必要なベビーシッター利用料等の補助

- 対象者
- 育児を行う教員、技術職員、ポスドク、博士学生等(男女)

東北大学サイエンス・エンジェル

- 次世代育成

出張セミナー、オープンキャンパス、科学イベント等の企画・実施

- 対象者
- 自然科学系部局に所属する大学院女子学生

スタートアップ研究費

- 女性リーダー育成

新規採用の女性教員に、研究スタートのための研究費を支援

- 対象者
- 新規採用の女性教員(助教以上)

仙台Iゾンクラブ 東北大学大学院女子学生のための国際学会発表渡航支援事業

- 次世代育成

海外で開催される会議・シンポジウム等の旅費支援

- 対象者
- 大学院女子学生

お問い合わせ先

男女共同参画推進センター
☎ 022-217-6092
✉ office@tumug.tohoku.ac.jp

開催報告

第2回スキルアップセミナー 「英語科学論文の書き方と英語プレゼンテーションのコツ」

今回は長年英語論文の校閲に携わり著書も数多く出版されている野口ジュディー津多江氏をお迎えし、英語科学論文を執筆する際のポイント、英語による科学発表時の準備方法などを解説していただきました。前半では文法について、後半では発音についてご講演いただきました。105名の参加がありました。

日時：1月27日(水)13:30~15:45
開催方法：オンライン



女性研究者の業績 (順不同)

【採択】

■ 2020年度創発的研究支援事業(文部科学省/JST)

2020年度創発的研究支援事業に本学女性研究者が新規採択されました。

- | | | |
|--|--|---|
| 有澤 美枝子 准教授(薬学研究科) | 常松 友美 助教(生命科学研究科) | 郭 媛元 助教(学際科学フロンティア研究所) |
| 研究課題名：
「生体親和性分子が担う
環境ストレス応答医薬品の創生」 | 研究課題名：
「ディーブローニングを用いた
マウス夢見証明への挑戦」 | 研究課題名：
「脳機能の解明に向けた
多機能三次元神経プローブの開発」 |